



認知症家族の会 さくらの会

かわら版 令和7年3月号



次回予告

日時 4月16日(水)
13:30~15:30

内容 カフェタイム・講話

講師 吉良道好

場所 あったかふれあいセンター
まちなかサロン

『介護はまかせちよき!』
~ヤングケアラーから
ケアメンいごっそうまで~

参加費 100円

事務局:須崎市役所内 長寿介護課 ☎0889-42-1205

さくらカフェ

令和6年2月5日(水) さくらカフェを須崎市総合保健福祉センターで行いました。
住民、会員の方、職員を含めて総勢19名での開催となりました。

認知症についての講話

認知症を正しく理解をする

「認知症になっても生きがいを持ち続けながら、住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし続けることができる」

VR 認知症体験

みなさんの視覚・聴覚で「認知症」のいくつかの症状を本人視点で体験。

本人の視点に立った時にその状況で何を感じ、周囲とのコミュニケーションの中で何を思うのかを体験しました。

Aさん視点 『ビルの屋上に立ち、ここから「降りてください」と声をかけられており、怖くて屋上から降りられない、動けない』

現実視点 『デイサービスの帰り道、職員の方が車から「降りてください」と声をかけるがAさんはなかなか車から降りてくれない』



職員とAさんが同じ状況を認識していない
スタッフ: デイサービスの帰り道、車からの下車
Aさん: ビルの屋上にいる



この場合、職員がAさんに今の状況がわかるような説明が必要です

例: 「Aさん、車から降りましょうか」「一段降りると地面ですよ」

「こうゆう視点で見えているんだとわかった」
「だからなかなか意思疎通ができていなかったのか」



さくらカフェやさくらの会が出た悩みに対する対処法を載せています。
今回は、グループホームぬっく須崎 森光さんから助言をいただきました。

「帰宅願望への対応」

Q

母が一人で過ごすのは心配で、せっかくの年末年始なので私の（息子）家で一緒に過ごそうとして、家に連れてきた。
しかし、すぐに帰る帰ると帰宅願望が強く、そのまま母の家に戻ることもなった。



A

なぜ「帰りたい」のか・・・

認知症が進行すると、時間や場所、人の顔が識別できなくなり、不安になります。
そのため、安心できるどこかへ行こうと行動します。
家に居ても「帰る」ということもあります。

どこへ帰りたいのか・・・

生まれ故郷や子供のころ住んでいた家・居心地の良い人が住んでいる家
自分が必要とされ、輝いていた場所

環境や人間環境の変化

初めて行く場所や初めて会う人には、混乱し不安な気持ちになります。
以前行ったことがある場所でも忘れてしまい、不安な気持ちが高まります。
昔の記憶が蘇り「そろそろ夕食の準備をしなくては」という思いに駆られることや居心地の悪さから帰宅を訴えることもあります。
そのため、本人が安心できる居心地の良い環境を整えましょう。
なじみのものを周囲に置くことやリビングなど皆が集まる空間に、本人が「居場所」と感じられるような、定位置を作ることも効果的です。
受け入れられているという安心感も必要なので、帰宅を訴えた時には「ここにいて欲しい」という気持ちを伝えましょう。

「帰りたい」と言われた

本人の帰りたい気持ちを否定するのは禁物です。
本人の気持ちを受け止め、その人の興味があることに話を向けると、気持ちが切り替わることがあります。
外に出ようとした場合も、部屋に閉じ込めるなど、無理やり行動を抑制するのは逆効果です。
話をしながら一緒に散歩することで、落ち着いてもらえることもあります。

帰りたい理由を聞いて不安を取り除く

どこに帰りたいのか、どうして帰りたいのかなど気持ちを聞いてみましょう。
「家の戸締りをしなくては」など、人によって理由が出てくるはずなので、「戸締りは済んでいるから大丈夫」と言うよう、帰らなくても問題ないことを伝え、不安を解消するような声掛けをしてみてください。

須崎市内のグループホーム

シルバーホーム	おおの郷	多ノ郷甲 1136-2	0889-40-0560
グループホーム	ぬっく須崎	妙見町 11-6	0889-43-0510
グループホーム	すさき	多ノ郷甲 5741	0889-43-1181
グループホーム	やまざくらの里	安和中ノ川内 693	0889-40-0333
グループホーム	新荘の里	下分甲 606-3	0889-43-0101

グループホームの入所のことや、認知症のことなど、いつでもお気軽にご相談ください。

